

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 住宅リフォーム資金助成事業

みなさんが自宅の改修工事を行う場合、市から助成金が出る制度をご存知でしょうか。地域経済の活性化と住環境の向上を図るためのものですが、平成21年度に運用を開始してから昨年度までの6か年で、市内の183業者から1,288件の申請が出て、その改修工事に市から合計8,058万6,000円を助成しました。決して小さな金額ではありませんが、改修工事費の総額は何と12億8,857万7,813円に上り、その経済効果は助成金の16倍にもなりました。

住環境の向上と地域経済の活性化。助成金として、まさに一挙両得の効果を上げています。1件当たりの助成金は、決して多額ではありませんが、まだの方、ご利用されてみてはいかがでしょうか。

■ 小規模土木事業

これも補助金の話です。

対象事業は、「利用者が多い道路」「安全施設」および「水路等」の新設、改良または補修などで、かつ、5戸以上がその対象事業に関係する必要があります。

補助率は、事業の実施に要する費用の8割です。住宅リフォームと比較し、1件当たりの事業費の値が張るため、申請を出しても補助金の交付まで4年近くかかるのが実情で、その

運用の在り方について、内心ずっと気になっていました。

5月1日号でもお伝えしましたが、この度、みなさんのご協力のおかげで財政状況が少しずつ上向いてきたことを受けて、平成25年度(平成26年3月末日)受付分までのものは、全部に対応できる予算を組むことができました。辛抱強く我慢してくださった関係者のみなさんに、お詫びかたがたご報告させていただきます。

なお、緊急事業用とカーブミラー用は、平成27年度分も別枠で補助金を準備していますので、何かありましたら、土木課(☎82-1160)までご連絡ください。

■ 大雨災害

もうしばらく梅雨が続きます。各地の大雨情報を耳にするつど、平成22年7月の厚狭川のはん濫による洪水を思い出します。

まだ、鴨橋の架け替えと桜川のバイパス工事が残っていますが、平成26年度末を期限とした河川激甚災害対策事業(総額約70億円)も、何とか完成が近づいてきました。

みなさんともども、あの日の緊張感を忘れず、「自助」はもとより、隣近所の要支援者(要援護者)に対する「共助」についても、どうぞよろしくお願いします。行政も、責任を持って「公助」の役割を果たすつもりです。

何とか無事に梅雨明けを迎えたいものです。